

デジタル化するメディア

～光と影～

鈴木雄雅ゼミ 2010 度秋学期

新聞学科 2 年

2011 年 2 月 15 日

A0919277

GASSER Bettina Bianca

デジタル化するメディア

I. 概要

私達の生活を豊かにしてくれるメディア。現在、携帯やパソコンをほとんどの家庭が持ち、デジタル化したメディアなしの人生を想像さえできない人も少なくはない。

しかしそんな私達の生活とより便利でより簡単にしてくれたメディアにも「影」があった。このレポートは、「影」に対する「光」を取り入れながら影について調べた物を簡単にまとめたものである。

II デジタル化に連れて・・・

デジタル化されたメディアが私達の生活をより便利にした共に私達のいわゆる「ソーシャル・ライブ」にも影響を及ぼしている。下記は3つの例を用いながらその影響の「光と影」を挙げてみた。

II.I ～光～

- ❖ メディアのお陰で普通は会うことさえできない人と会話ができる

⇒Twitter や Facebook の様なソーシャルプラットフォームを通じて外国に住んでいる人等、普通は会えない人と触れ合ったり会話したりすることができる様になった

- ❖ 友達は常に隣にいる！

⇒メールや電話を使えば友達の様子が常に確認ができる。Skype の様なプログラムを使えば海外の友達と日本にいながらにして会話やチャットができる。

- ❖ 1 台の端末で全てが揃っている

⇒例えばアップル社の i-シリーズ(iPad,iPhone,iPod)なら 1 台に電話、テレビ、インターネット等複数の機能が付いているため他の機械が不要になる。

II.II ～影～

❖ 携帯が友達になる、感情が「鈍く」なる(孤独化)

⇒ネット上で知り合った友達が本当の友達だと思う様になり、身近にいる人達に興味を示さなくなる。そうすれば段々現実感が薄れていき、その結果、引きこもりになってしまう場合がある。

❖ 依存

⇒携帯、スマートフォン等が常に手元にないと焦ってしまう。同様に、電波の入らない場所にいると何か損している気分になってしまう。

❖ プライバシー侵害、ハッカー

⇒ソーシャルプラットフォームで個人生活を他人とシェアする様になったが、同時に個人情報漏れる恐れがある。アクセスした端末に貴重な情報が入っていればその情報が見られてしまう。

もちろんソーシャル・ライブだけではなくメディアによる影響の「光と影」は他にも数々ある。

III ウィルス

調べるに連れてよく出てきたのは「ウィルス」や「ハッカー問題」。スマートフォン等の様な常にインターネットと繋がっている端末だと案の定、データも常にインターネットと繋がっている。次第に無意識に位置情報がもれたりハッカーによって攻撃されることがある。スマートフォンの登場に伴ってスマートフォン専用ウィルスが作られた。

11月23日、iPhone ワーム、Sophos が Duh、また Intego が iBotnet.A と名づけたワームが発見された。Duh は、iPhone/Privacy.A 同様に、iKee より悪質で iPhone をハイジャックしてしまう。¹

特にスマートフォンが普及している会社では社員が貴重なデータをスマートフォンに載せ、紛失したらそのデータが外に漏れてしまう。その上、スマートフォンで会社のサーバーに侵入することが可能になっている。しかし対策を立っている会社は世界中4割にすぎない。

新たなメディアが出るに連れて新たなウィルスが登場すると言われている。従ってユーザーは、いつでもどこでもインターネットにアクセスが出来るということが便利だと感じて油断は禁物である。

¹ https://www.netsecurity.ne.jp/2_14683.html

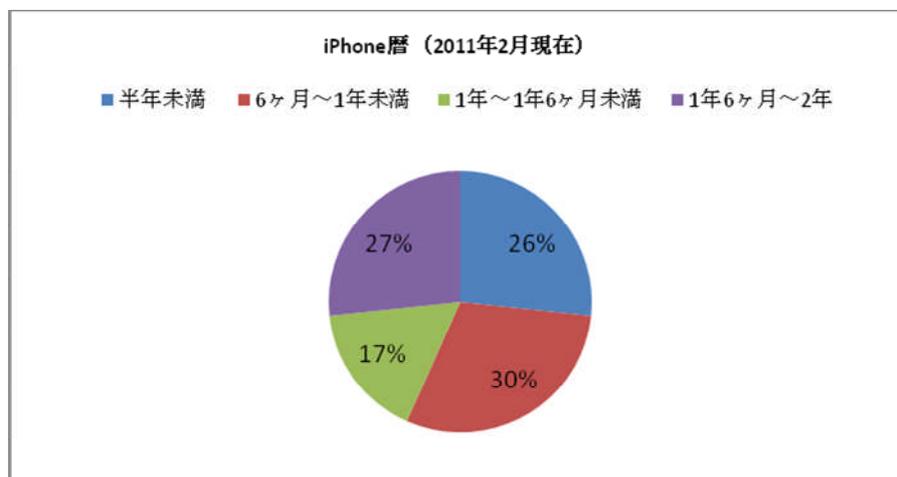
IV アンケート

実際に毎日デジタル化したメディアを利用している人達にとってそのメディアの「光と影」は何なのかをさらに詳しく知るために最も普及したといえる端末、アップルのスマートフォン「iPhone」の利用についてアンケートを取ってみた。²

アンケートで聞いた質問は下記の通り

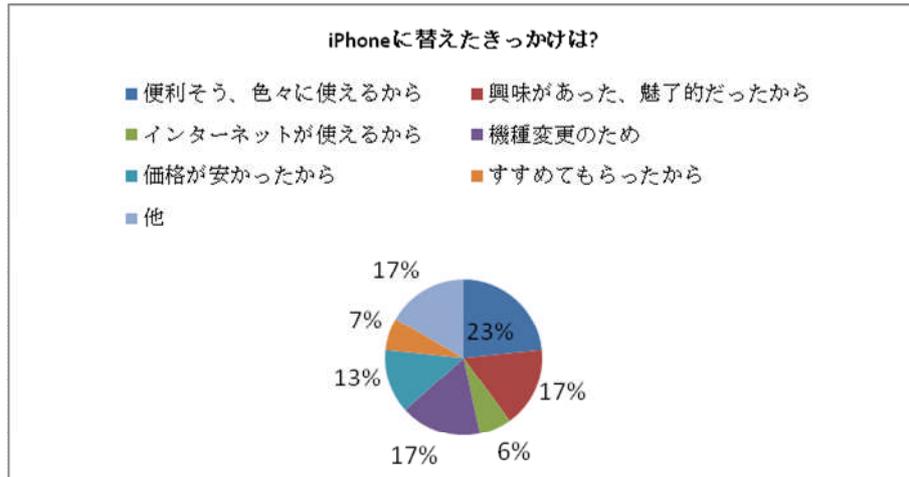
- ① iPhone 歴
- ② なぜ iPhone にかえましたか？
- ③ かえなければよかった！と思ったことはありますか？
また、それはどんなときですか？
- ④ かえてよかった！と思ったことはありますか？
また、それはどんなときですか？
- ⑤ iPhone を使って、個人情報が危ない！と思ったことはありますか？

なるべく幅広い年齢層や国籍の人々にアンケートに答えてもらいたかったので上智大学の生徒にとどまらずスイスやドイツでも色々な人に声をかけてみた。全部 30 人の社会人や学生に協力していただいた（日本人 19 名、ドイツ人 6 名 スイス人 5 名）。アンケートの結果は以下の通りになった（全てのグラフは 30 人の回答を集計したものである）。

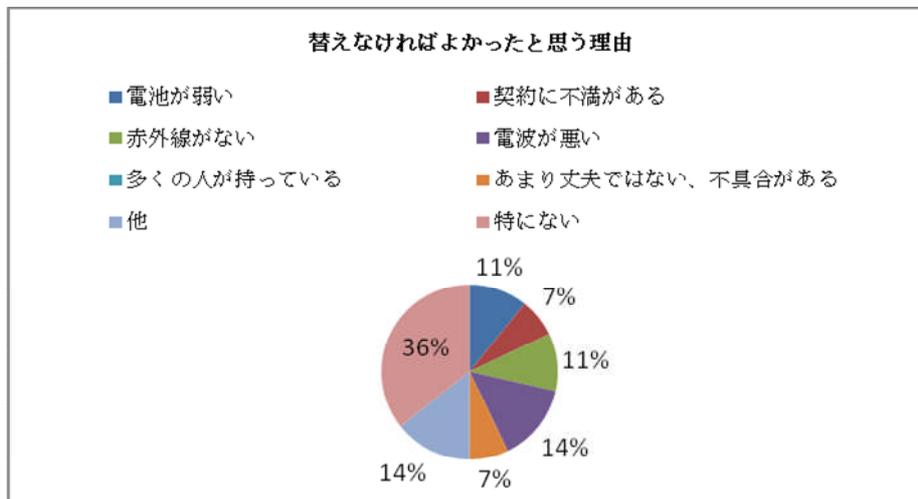


回答者のほとんどは iPhone を半年以上持っていて（特に社会人の方は iPhone を長く持っている。日本とドイツ・スイスを比較すると、日本人の回答者は iPhone 歴が比較的短いといえる（ヨーロッパ人 11 名中、一人 iPhone 歴半年未満）。

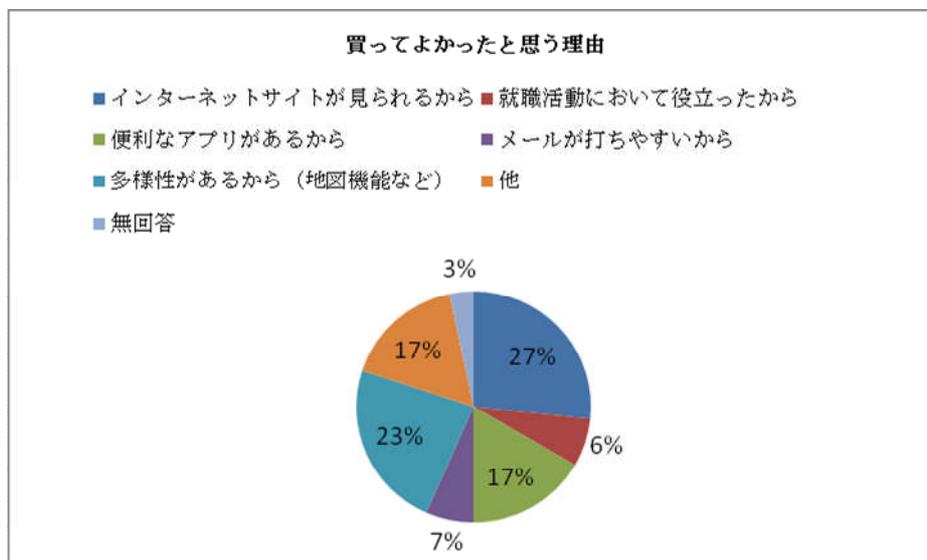
² 全ての回答はこのレポートの最後に添付されている



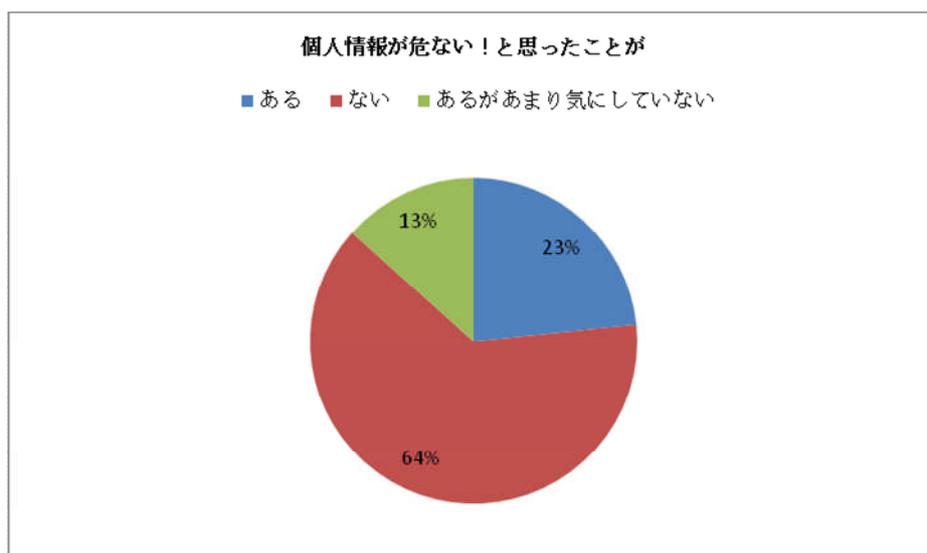
他はアプリや就職活動の時に役立ちそうという回答が多かった。



国や職業と関係なく、特にな、ありませんという回答が多かった。



「インターネットサイトが見られる」という回答は圧倒的に多かった。しかし比較してみると以前から携帯でインターネットを見る習慣があった日本に対し、以前はインターネットをパソコンでしか利用していないヨーロッパではその理由ではなく「多様性があるから」という回答が多かった。



意外なことに個人情報がないと思っている人は少なかった。その主な理由としては、現在はずでに色々な場面（ネットショッピング等）で個人情報がばれるし、貴重なデータは iPhone に載せていないと挙げられている。

【参考文献】

アンケートに関する文献

インターネットフォーラム Animexx	http://animexx.onlinewelten.com/
Swisscanto（投資信託），チューリッヒ	http://www.swisscanto.ch/ch/de/index.html
ソーシャルプラットフォーム MIXI	http://mixi.jp/

https://www.netsecurity.ne.jp/2_14683.html

<http://www.my-iphone.jp/archives/394>

<http://news.livedoor.com/article/detail/4365373>

<http://www.spiegel.de/netzwelt/mobil/0,1518,638038,00.html>

<http://www.datensicherheit.de/aktuelles/gefahr-des-verlustes-von-unternehmensdaten-durch-zunehmende-iphone-nutzung-6570>

iPhone に関するアンケート

日本 (学生)

使用歴

9ヶ月	便利そうだったから。 変える時スマートフォンはiPhoneしかなかったから。	たまにフリーズする 電池の消耗が激しい 学校帰りとか電池なくなると連絡 取れなくなるから困る 壊れると修理代が高い	いつでもPCサイト開けるから便利 iPodとしても使える 大学の先生が就活に便利って言っていた	携帯と同じだから特に思わない	女性
1年2ヶ月	たまには先端技術に触れておこうかという気まぐれと、就活の情報収集、説明会予約のため。 留学生にiPhoneを使っている人が非常に多かったため、日本人にはまだ浸透していないような使用法や、利便性があるのではないかと感じたため	特にない。 が、不便だと思う点は契約期間が長いので次世代の大幅に各機能が追加、改善された機種が発売された際に買い替える事が出来ない。	インターネットが使えるのでG-mailが開ける(就活期以降非常に重要) appが優れている(乗り換え案内、GPS、SNS、Skype等) iPodを持ち歩く必要がない 海外では無線lanを採用している場所が多いため、契約がなくても使える事が多い	ある。もしiPhoneを紛失した場合に、iPhone内のデータに加えてfacebookやmixiの情報も流出する可能性があると考えた時。	女性
1年2ヶ月	買い替え時で最もコストパフォーマンスがいいものだった&スマートフォンに魅力を感じていた	赤外線がないので友達との連絡交換が不便なとき	就活時は非常に役立った	iPhoneだからという理由では思ったことはとくにない	男性
1年2ヶ月	普通の携帯よりもゲームアプリが魅力的だから	着信音の設定が自由じゃない。今は多くの人が持ちすぎていて嫌	インターネットとほぼ同じ様にページが見える。アプリがたくさんある	パソコンにバックアップを取れるから情報が漏れるかもしれない	男性
1年間	使いやすかったから。 インターネットを使いたか	電波が入りにくいときがある	通話料金がダウン!産経新聞を無料で読める。	今のところはない。	女性

	ったから。サークル関係				
9ヶ月	スマートフォンの時代だと思っていた	動作が重い。電波状況が悪い。電池の持ちが悪い	パソコンと互換性がある	特になし	男性
1ヶ月	携帯が水没したため	特になし	パソコンサイトが見られる	ない	女性
6ヶ月	インターネットを使えるところが良いなと思った。	iPhoneを持っている人が多い。すぎてちょっといやだ	辞書などのアプリが入れるのが便利だと思った。旅行とか行ったときにナビアプリがすごく便利だった！	特にない	女性
5ヶ月	定額が安くて、便利そうだったから	ありません	いつでもネットを利用できるところがいい。まら料金も安い	位置情報サービスがONになっていると、写真を撮った場所が表示されたとき	女性
6ヶ月	スマートフォンで便利だし、就活のときに必要と思ったから	すぐ圏外になること	暇つぶしができる！ただ友が多いから、電話代があんまりかからない	ありません	女性
4ヶ月	機種変えのため	特にない	メールが速く打てる	特にない	女性

ドイツ（学生、社会人）

seitdem des 3G raus is. (iPhone) 3G が発売された時に買いました	War das günstigste Smartphone im Portfolio meines Providers mit den Features die ich benötigt habe. Und ich hab grad ein neues gebraucht. 紹介されたスマートフォンの中で一番安かったもので欲しかった機能がついてたから。それからちょうど携帯を買い替えたかったから	Keine offene Sync-Schnittstelle, Keine konkreten Leitfäden für die Devs, die Bindung an iTunes und den App Store 赤外線がない。インターネット上の利用案内は役立たない。iTunes などの有料サービスに登録しないとイケない	Die Usability ist recht eingängig, und zugegeben, das Fehlen von Flash finde ich toll. Webangebote über Apps präsentiert bekommen 使いやすい。フラッシュが見られないのも悪くないと思う。後、毎日自動的に新アプリの情報が出るのも嬉しい	unzureichende Sicherheitsfeatures , keine brauchbaren Verschlüsselungen セキュリティーフィーチャーが足りない。 暗号はあまり有用ではない	m
ziemlich genau 2 Jahre	das iPhone bietet mir Apps, die andere Handy nicht beherrschen kann .zb ein Mini	Man kann nicht beeinflussen, was für Werbung einem angezeigt wird!	Mein iPhone ist mir eine große Hilfe im Alltag. Meinen Einkaufszettel habe	Ich weiss, dass Apple alle 12h unabhängig von allen Apps den	f

<p>ちょうど2年</p>	<p>Klavier. So kann ich Akkorde für meine Songs überall auf dem iPhone abspeichern.</p> <p>携帯では使えないアプリが使えるから。例えば「ミニピアノ」というアプリならどこでも作曲ができる</p>	<p>Außerdem bin ich manchmal sehr unglücklich über die Vertragskosten</p> <p>表示される宣伝が選べないし誤ってクリックしたらお金がかかる場合もある。それからかなりのお金がかかるのもよくない</p>	<p>ich mittlerweile als App. ich kann ganz schnell online Preise vergleichen.</p> <p>日常生活ではやっぱり非常に役に立つ。買い物の時は値段比べしたり栄養価を確認したりして便利です</p>	<p>aktuellen Standort des iPhones abrufen und speichert, aber der Standort wird mittlerweile sowieso nur schon allein beim Onlineeinkauf etc. angezeigt.</p> <p>アップルが12時間ごとにiPhoneの位置を確認し保存しているの知っていたけどオンラインショッピングなど今は色々な場面で位置がばれるからあまり気にしていない</p>	
<p>seit Juni 2009</p> <p>2009年6月から</p>	<p>Es gab damals nichts annähernd Vergleichbares. Es kann (fast?) alles was ich mir von einem Taschencomputer wünsche und es ist üblicherweise einfach und macht Spaß</p> <p>購入時、スマートフォンはiPhoneしかなかった。小型コンピューターに付くべき機能はほとんど全て付いてるし楽しい</p>	<p>Nein. Ich ärgere mich durchaus öfter über irgendwelche Sachen, aber bereut nie.</p> <p>うまく起動しないときはあるけど基本的には買ってよかったと思う</p>	<p>Wenn ein neu entdecktes Programm mein Leben einfacher macht.</p> <p>Wenn ich andere Smartphones von Bekannten testen durfte</p> <p>便利で役立つアプリをみつけるたびに。後、友人の他のスマートフォンを試しているときに。</p>	<p>Ja. Nein. (= wenn, dann war ich mir sicher, dass es meine Privatsphäre gefährdet ;)</p> <p>考えたことはあるけど個人情報がないことをしているときは覚悟しているよ！</p>	m
<p>iPhone 4 seit dem 23.12.2010</p> <p>2010年12月23日からiPhone 4を使っています</p>	<p>Bei mir stand eine Vertragsverlängerung an und das iPhone 4 wurde halt angeboten. Allerdings spielten die Technik und das Design eine Rolle</p> <p>契約更新のときにiPhoneを紹介されたから。後はテクニックとデザインが気に入ったから。</p>	<p>Nein.</p> <p>ありません</p>	<p>Das iPhone ist super praktisch, um die Kommunikation mit meinen Leuten zu halten, ohne ständig zu telefonieren. Und zum Zeitvertreib auch sehr gut</p> <p>友達と連絡を取っているのに最適！電話なしでも簡単に連絡が取れる。それからいい暇つぶしにもなる</p>	<p>Ja und Nein.</p> <p>思ったことはあるがあまり気にしていない</p>	f
<p>Beinahe 2 Jahre</p>	<p>Finde es hat einfach alles was man braucht, außer Flash.</p>	<p>Eigentlich nur dann wenn es sich genau da aufhängt wenn man es</p>	<p>無回答</p>	<p>Drüber nachdenken ja, aber</p>	m

もうすぐ 2年	Kann es beruflich wunderbar nutzen und genauso privat, フラッシュ以外に私 が必要としている機 能は全て付いてい る。プライベートで も仕事関係でも使え る。	bräuchte. sonst TOP zufrieden. 一番必要な時に電源 が消えたりすること 以外は本当に満足し ている！		Onlinebanking mach ich auf dem Ding ja nicht. 思ったことはある けどオンライン振 込みなどはしてい ないからあまり気 にしていない	
Seit August 2010.	Es war das einzigste Smartphone, dass mir von denen, die es zu der Zeit bei der Telekom gab. 購入時、スマートフ ォンは iPhone しか なかったから	Bisher kam es zu keinerlei Situationen dieser Art; zumindest zu keiner, an die ich mich im Nachhinein erinnern kann. 今までは特に問題な かった	Wenn ich dringend mal eine Straßenkarte oder Auskunft über etwas brauche. Wenn ich unterwegs etwas lesen möchte, was mir dann via iBooks ermöglicht wird. 至急に地図とか案 内が欲しい時に使 える。 後は出かけるとき に iBooks にて読 書ができる	Nein, bisher nicht. Ich achte sehr auf meine Privatsphäre, sei es nun am PC oder beim iPhone, und achte im allgemeinen immer darauf, meine Identität zu wahren. 端末に関係なく個 人情報は気をつけ ているから今まで は特に考えたこと がない	f

日本（社会人）

1年9ヶ月	CMとかテレビ の特集見てた ら欲しくなっ た	赤外線できな いとき、テレ ビ見れないの は不便(別売 り)	使いやすい Google マップ で初めて行く 場所に迷わず に行けたとき 良いアプリを 見つけたとき	ない？ アプリ購入のと き、クレジット カードの情報使 うから最初はち よっと怖いと思 ったけど、問題 ないし、危ない と思っていな	女性
1年8ヶ月	新型発売前の セールで、価 格が安い	無い。3GS、 4が出ても、 価格を考えれ ば、我慢でき た。(遅いけ ど、機能的に 3Gは完成し ていると思う	GPSを使った アプリや Twitter など のSNS、RSSな どWEBを使っ たアプリが面 白いこと	落としたら、ダ メージは大きい と思う。また、 セキュリティの 心配はある (例：写真をア ップロードして 使うアプリや知 らない間に本体 に保存される個 人情報にアクセ スされるかもし れないこと)	男性

半年	便利そうだから。携帯番号をちようどう変えたかったから。音楽が携帯で聴けるから	2台持ちなので、iPhod Touchで充分だと、最近思った。WIFIとかに詳しくなかったから、iPod Touchの便利さを知らなかった	パソコンサイトが外出先で見れる。原付の時のナビ代わり	ない。	女性
8ヶ月	ブームがきたから携帯でPC並みのインターネット検索ができるからアプリがあるから	ない。電波が悪いのはちょっとやだ	インターネット検索ができる Skypeできる 地図が見れる 色んな機能やアプリがあるので、暇つぶしができる	ない。	女性
1年4ヶ月	買い替え時のタイミングに探した中で、インターネットやアプリなど他の携帯よりも有用だと考えたから	特にないが、電波の持ちや赤外線通信のなさには不便さを感じる	特に意識して買ったつもりはなかったが、就活時には大変役にたった。また、TwitterやSkypeなどの利用が最近になった	iPhoneだからということはない	男性
1年8ヶ月	ブラウジングするために	ない	ブラウジングしているとき	ない	男性
一年前	就活のために	すぐ不具合が生じるため	地図機能やネットの閲覧がすぐできて便利と感じるとき	特にない。	女性
1週間	iPod代わりに買った	タッチパネルが苦手。iTunesが使いにくい	画像を第三者に見せるときに便利。説明せずに済む(例:散髪)	写真を撮るときに位置情報が含まれる可能性があるから気を付けないといけない	男性

スイス (社会人)

jetzt dann gerade 1 Jahr (iPhone 4) もうすぐ1年	Aktion im Geschäft, Anstelle eines Black Berrys Daten Synchronisierung mit dem Büro PC möglich 仕事関係にいい	Empfang etwas schlechter als meine vorherigen Geräte (Sony Ericsson) Bereut bisher noch nicht	Kompaktes Gerät, alles immer dabei Emails des Geschäfts immer dabei 小型のわりに色々な機能が	Nein, bei uns sind die Daten via Firewall des Geschäfts geschützt. Das Gerät ist mit dem HOST verbunden. Es kann nicht alles	男性
---	---	---	---	--	----

	<p>と思ったから。 Blackberry の代わりに。 会社のパソコンとシンクロができるから</p>	<p>以前使った機種 (Sony Ericsson) より電波が悪いが後悔はしていない</p>	<p>ついてて便利。 仕事関係のメールは常に確認できる</p>	<p>installiert werden いいえ。会社では貴重なデータが Firewall にて保護されている。端末は会社の HOST と接続されているからダウンロードされるデータが限られている</p>	
<p>Seit 1 1/2 Jahren (iPhone 3GS) 1 年半</p>	<p>An der Technik interessiert & Apple Fan 自分は Apple のファンで iPhone のテクニクに興味を持っていたから</p>	<p>Akku etwas schwach, aber das gerät ist nach wie vor top 電池は弱い但他は問題ない</p>	<p>Abfrage von Fahrplänen, News Ticker, Email Verkehr mit Geschäft 色々な物を検索できる (電車の時間表、交通状況など) 仕事関係のメールも確認できる</p>	<p>Für privaten Gebrauch habe ich ein anderes Handy (Sony Ericsson) Darum eher nicht プライベートでは別の端末 (SonyEricsson) を使っているからあまり意識はしていない</p>	男性
<p>Seit 2 Jahren (iPhone3GS) 2 年くらい</p>	<p>Wollte ein Iphone haben / gutes Design Iphone が欲しかったから。デザインが気に入ったから</p>	<p>nein, einzig der Akku ist schwach 電池が弱いところだけ</p>	<p>Täglich mehrfach im Gebrauch, gute Menueführung, alles dabei 毎日色々な場面で役に立っている。便利でメニューが使いやすい</p>	<p>Nein, habe keine heiklen daten auf dem Gerät, zumal das auch bei anderen geräten möglich ist 貴重なデータは載せてないから意識はしていない。あるとしても iPhone だけの問題ではないと思う</p>	男性
<p>seit mehr als 1 Jahr (iPhone 3GS) 1 年以上</p>	<p>auf Empfehlung, war am iPhone interessiert iPhone をすすめてもらった。以前から興味を持っていた</p>	<p>Nein nach wie vor gutes Gerät いいえ、満足しています</p>	<p>bis jetzt hat es einfach gut funktioniert 今まで大きな問題がなかったから助かる</p>	<p>nicht bewusst, nutze es nur privat 意識はしていない。プライベート面ではしか使っていない</p>	女性
<p>bald 1 Jahr (iPhone 3GS) もうすぐ 1 年</p>	<p>wollte einfach ein neues Handy, iPhone ist HIP ちょうど新しい</p>	<p>1x ja, das Ding ist nun schon mal kaputt (Glasbruch)</p>	<p>Musik hören & Telefon, Facebook, Internet alles in einem Gerät</p>	<p>Nein ありません</p>	女性

	<p>携帯が欲しかったし iPhone は大人気だから</p>	<p>kaufe bald ein iPhone 4, es soll robuster sein und sehr teuer!</p> <p>あります。画面のガラスが割れてしまって今故障中。もうすぐ新しい機種 (iPhone4) を購入するつもりだけど 3G より丈夫だったらいと思う。後、機種代が高い</p>	<p>音楽を聴いたり、電話をしたり、Facebook やインターネットの利用も 1 台の端末でできるのはすごい</p>		
--	---------------------------------	---	---	--	--

メディアのデジタル化 ～地デジ化の現状と今後

A0919540

朴スルギ

《目次》

1. 地上デジタル放送とは何か
 - 1-1 地上デジタルテレビ放送
 - 1-2 地デジ化の目的（アナログから地デジへ、なにが変わるのか?）
 - 1-3 地デジの歴史と経緯
2. 地デジの現状
 - 2-1 海外の地上デジタル放送
 - 2-2 日本における現状
3. これからの地デジ
 - 2-1 地デジが楽しめる媒体
 - 2-2 3D テレビは定着するのか
4. 今後の課題
 - 4-1 ビル陰の受信率
 - 4-2 アナログテレビの不法投棄
 - 4-3 緊急地震速報の遅延問題
5. まとめ
6. 参考文献

はじめに

2011年7月24日、アメリカやドイツに続いて日本でも従来のアナログテレビ放送が終了し、地上デジタルテレビ放送へと完全移行する。地デジへと完全移行まで半年も残っていない。そのため、連日メディアは視聴者に地デジへの対応を呼びかけている。そして政府は総務省を中心に国策として地デジ化を推進している。しかし、テレビという媒体は私たちの生活に多大な影響を与える媒体であるため、我々はこの地デジというものはそもそも何であって、何故変える必要があるのか、どのような現状においてあり、そして今後の課題について理解しておく必要がある。

1. 地上デジタル放送とは

1-1 地上デジタルテレビ放送

地上デジタルテレビ放送（以下「地上デジタル放送」）とは地上の電波塔から送信する地上波テレビ放送をデジタル化したものである。一般的に略して「地デジ」と呼ばれている。この地上デジタル放送を受信するには必ず対応のチューナーが必要である。では、何故地上デジタル放送へと移行しようとしているのか、その目的について考えてみたいと思う。

1-2 地デジ化の目的

今までのアナログ放送より高画質と高機能や電波の有効利用ができることから国は2011年7月までに地上デジタル放送へ完全移行を進めている。地上デジタル放送へ移行することによって従来と比べて何が変わるのだろうか。総務省は放送をデジタル化する理由としてホームページを通して以下の3つを挙げている。

① 多様なサービスを実現

デジタルハイビジョン放送が行うようになり、ワイド画面で高画質・高音質の放送ができるようになる。そして今までのアナログ放送1チャンネル分の電波で、2・3番組の同時放送も可能になる。そのため、メインチャンネルで時間通りの放送を見ながら、サブチャンネルで違う番組を楽しむことができる。また、字幕、解説の放送ができるようになり、高齢者や障害者にも優しいサービスが提供されることと電子番組表（EPG）で番組情報が見られること、視聴者の番組への参加が可能になり双方向のサービスがじつげんしたことなども地上デジタル放送の大きな特徴として挙げられている。

② 電波の有効利用

通信や放送などに使える電波はある一定の周波数に限られている。テレビ放送をデジタル化することで、電波は1/3に圧縮され余裕ができる。それで空きとなる周波数帯は地上デジタル音声放送（地上デジタルラジオ）、高度道路交通システム（ITS）、携帯電話、

携帯電話向けの放送、業務用通信、公共機関向け通信などの新たな用途に使用する予定である。(図1を参照)

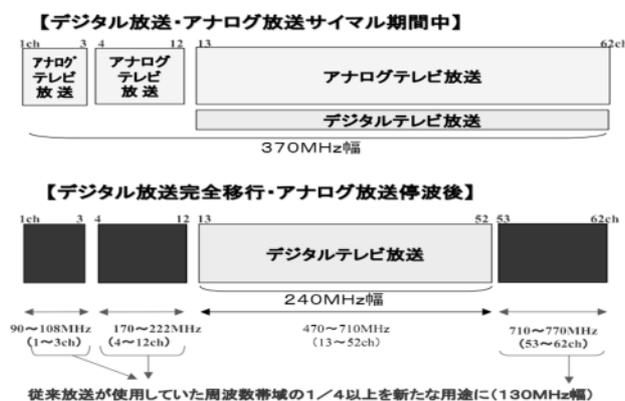


図1. 電波の有効利用

③ 世界の潮流

地上デジタルテレビ放送は1998年にイギリスで最初に開始された。現在、欧米ではアメリカ、ドイツ、イタリアなど、アジアでは韓国、中国、ベトナムなど、世界の20以上の国と地域で放送されており、デジタル放送は世界の潮流となっている。現在、アメリカやドイツなどが地上デジタル放送へ完全移行をしている。また、フランスと韓国が2011年の年内にアナログ停波が予定していて、中国は2015年に完全移行を予定している。

1-3 地上デジタル放送の歴史と経緯

戦後1950年代にかけて、「社団法人日本放送協会」が公共企業体としての「特殊法人日本放送協会」に改組され、1953年にアナログ方式のテレビ放送が開始された。1959年皇太子ご成婚をきっかけにテレビは普及し始め、1980年代になると、多数のCS局がCATV向けの放送を開始する。そしてデジタル放送の草分けは1996年のパーフェクトTVで、これまでのケーブルテレビでしか見ることができなかったジャンル別専門放送を直接チューナーとアンテナを使って受信できるようにして、また、従来のケーブルテレビで視聴可能だった30チャンネル前後から、テレビ・ラジオ合わせて300チャンネルの視聴を可能とした。2006年4月から地上テレビ放送を、UHFチャンネルを使ったデジタル放送に置き換え、携帯端末向け地上デジタル放送「ワンセグ」が全国29都道府県で放送開始される。

そして2003年12月13日、大都市圏である東京、大阪及び名古屋のNHK3局、民放16社から放送が開始され2006年12月1日にはすべての県庁所在地を含む一部の地域で放送が開始された。停波予定とされている「2011年7月24日まで」の根拠は、電波法

が 2001 年 7 月 25 日に改正施行された際に地上アナログ放送の周波数を使用できる期間を施行から 10 年を超えない期間としたことによるものである。

2. 地上デジタル放送の現状

2-1 海外の地上デジタル放送

2-1-1 放送規格

世界の地上デジタル放送規格は大きく 3 つの方式に分けられる。主に北アメリカ大陸で用いられているアメリカ方式、多くのヨーロッパの国々で使用されているヨーロッパ方式、そして日本と南米の地域で採用されている日本方式である。これら以外にも中国が国内用として独自に開発した中国方式や同じく韓国が独自に開発した韓国方式などもある。しかし、韓国の場合、一般のデジタル放送はアメリカ方式を採用していて、韓国方式は一部の分野でしか使用されていない。

2-1-2 地上デジタル放送への各国の動向

現在、世界的に 40 以上の国で地上デジタル放送は開始されている。1988 年イギリスとアメリカで放送が始まり、その後、ヨーロッパではスウェーデン、スペイン、フィンランドなどの国で、アジアでは 2001 年韓国と 2003 年日本が放送を開始した。

① アメリカ

アメリカは 2009 年 6 月に地上デジタル放送へと完全移行した。アメリカでは当初、同年の 2 月に完全移行の予定だったが、2008 年起きた金融不安からの景気低迷により、デジタル放送対応のテレビの売れ行きが悪くなり、政府が用意した低所得者へのチューナー購入券へ応募が殺到したことで、オバマ大統領が議会を説得し、予定より 4 カ月遅れた 2009 年 6 月に完全移行することになった。

② フランス

一方、ヨーロッパではフランスが 2011 年の 11 月 30 日までデジタル放送へ完全移行を予定している。フランスは 2008 年 3 月 31 日からデジタル放送の受信機の普及に合わせ段階的にアナログの停波を行っている。低所得者への補助制度として受信機購入のための基金を設立、国民のアダプター購入負担額は約 40 ユーロ (約 6,000 円) と見込まれる。

③ 韓国

アジアでは 2011 年日本に続いて韓国が 2008 年改正された「デジタル転換特別法」により、2012 年 12 月 31 日まで地上デジタル放送へ完全移行をする予定である。一般市民への宣伝がきちんと行われていないという指摘もあったが、最近ではテレビ CM が流れるなど、政府とテレビ局が積極的に宣伝を行うようにしている。韓国政府は低所得者への支援として(1)デジタル波が受信できるチューナーを一台無償で支給又は購入補助金 10 万ウォン(約 8,000 円)を支援。(2)必要と見と得られる場合、受信アンテナの無

償支援を追加としている。韓国のデジタルチューナーの価格はメーカーによって異なるが、5000円程度で、日本と同じくらいの価格である。しかし、普及も徐々に進み中、周波数の割り当てをめぐる政府と放送局が対立している。

2-2 日本における地上デジタル放送の現状

2-2-1 受信機の世帯普及率

総務省が調査した「地上デジタル放送に関する浸透度調査」の結果によると、平成22年9月を基準に地上デジタル受信機の世帯普及率は90.3%に達した(図2を参照)。受信機の購入動機として5割に近い人が「現在のアナログ放送が終わることを見越して」と答えた。また、2割に近い人が「エコポイントを利用したかったから」と答え、9割を超える世帯普及率の背景にはやはり家電エコポイント制度の存在が大きかったと思われる。

都道府県別普及率が一番高地域は新潟県(95.1%)で、一番低かったのは沖縄県(78.9%)で、その差16.2%になる。この差は2010年3月の総務省の調査の結果(22.9%)より縮まり、全国的に受信機が普及していることを見せた。しかし、沖縄県は全国唯一受信機の普及率が8割を超えなかった。また、受信機を所湯していない世帯の3割が「経済的に地上デジタル放送に対応する余裕がない」と答え、今後地上デジタル放送へ完全移行のためには低所得者への支援が大事な課題となると思われる。

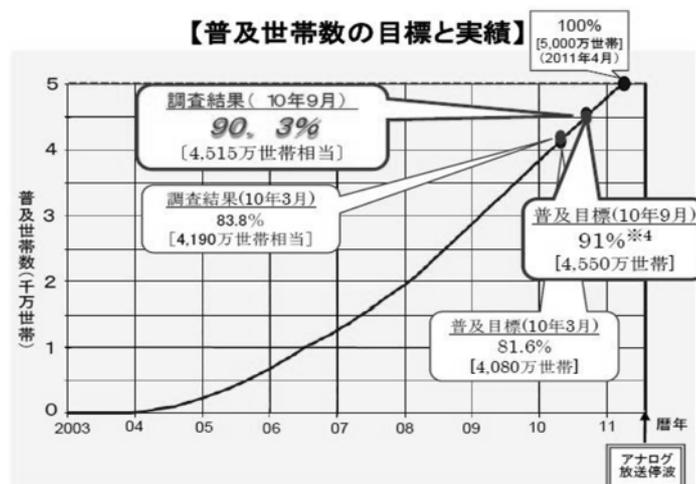
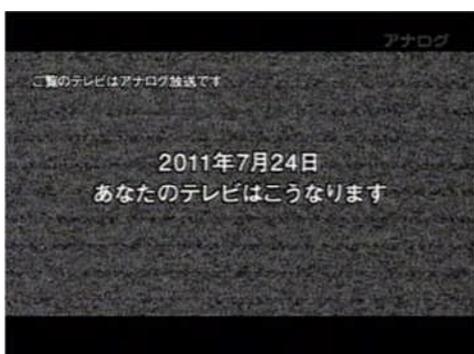


図2. デジタル放送受信機の世帯普及率

しかし、日本の地上デジタル放送の受信機の普及率は海外の国々に比べて目標に近い水準で円滑に進んでいると言える。地上デジタル放送の完全移行を進めている多くの国々は受信機の目標が思い通りに進まず、アナログ停波を延期するか(アメリカの場合4カ月延)、段階的に停波を行った。

2-2-2 支援状況

国策として普及を推進していて、総務省は地上デジタル放送受信のための支援を行っている。支援は2種類で別れていて、対象者の条件によって支援内容が異なる。まず、市町村民税非課税世帯への支援対象は世帯全員が市町村民税・非課税の措置を受けている世帯になる。その支援内容(1)簡易なチューナー(1台)を無償で給付すること、(2)簡易なチューナーの設置方法と操作方法を電話でサポートすることとなっている。一方、NHK放送受信料全額免除世帯への支援対象は生活保護などの公的扶助を受けている世帯、障害者がある世帯で、かつ世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯、社会福祉施設に入所されていて、自らテレビを持ち込んでいる世帯いずれかにかがいとうする世帯になる。その支援内容は(1)簡易なチューナー(1台)の無償給付と設置工事を行う (2)



アンテナ、ケーブルテレビ、共同受信施設の改修が必要な場合、その費用を負担することである。これら以外にも、受信が難しい難視地域のための色々な助成金がある。

しかし、この支援方法に議論すべき点があるのは確かである。支援を受ける対象者を、NHK契約を条件として選別しているからである。経済的に困っていて地上デジタル放送の対応ができて

いない低所得者の中では、やはり経済的な理由としてNHKの受信料の支払いができていない家庭もあるはずである。こうした家庭を対象者を選別する中で国が支援を放棄することにより、地上デジタル放送への完全移行が終わった後、地デジ難民を増やしてしまう恐れがある。

3. これからの地上デジタル放送

3-1 地上デジタル放送が楽しめる媒体

一般的に地上デジタル放送と言えばテレビで楽しむことと考えるが、これからはテレビ以外の色々な媒体を利用して地デジが楽しめるようになる。既にゲーム機やパソコンの中では地上デジタル放送対応の製品が次々と発売している。総務書でも地デジパソコンのためのホームページやガイドラインを作成、普及を進めている。

① パソコン

パソコンで地デジが楽しめるようになると、パソコン一つが色々な役割を果たせるようになる。最近では地デジ対応のパソコンが多く発売しているが、別売りのUSB接続対応の外付チューナーや内蔵タイプのチューナーを購入することで、地デジ未対応のパソコンも地デジが楽しめるようになった。

② お風呂テレビ

③ ゲーム機

ゲーム機の業界では PS3 から地デジの視聴・録画が可能な「torne(トルネ)」が発売し、世界初の地デジ対応のゲーム機となった。

④ ワンセグ

3-2 3D テレビは定着するのか

2010 年は映像に立体感がある 3D テレビの元年とも呼ばれる。3D テレビを始め、色々な 3D 関連商品が発売された。地上デジタル放送でハイビジョンの高画質が楽しめるようになった今、次定着するのは 3D テレビではないかと言う声もある中、3D テレビはどういう仕組みになっていて、はたして私たちの生活の中で定着するのだろうか考えてみたいと思う。

3-2-1 3D テレビ

3D テレビは左目・右目で少しずれている影像を別々に撮影し、3D 専用のメガネを通して画面に映っている、ずれている 1つの影像を 2つに分離させ、脳が立体感を認識する仕組みとなっている。ここで専用のメガネは実生活の中での私たちの目の役割を担っていて、普段の私たちの目も同じく一つの物に対し右と左違う情報を読み取っている。そして、最後に脳がその情報を組み立て立体感を認識しているのである。しかし、この専用メガネが不便で影像に集中できないという意見もあるのも事実で、現在、メガネを使わなくてもテレビの前に特集の装置を置くことで 3D が楽しめる技術が開発されている。しかし、まだ専用メガネに比べ立体感が足りないという指摘がある。



図 3. 3D テレビの仕組み

3-2-2 定着への疑問

現在、映画で 3D はすっかり定着していると言える。その背景には 3D に対してのハリウッドの積極的な政策がある。世界的に映画はずっとテレビに負けてきた。そのうえ、海賊版の DVD は映画公開後すぐに出回るようになっていて悩まされてきた。このような状況の中、ハリウッドは数十年前から 3D 映画にチャレンジしてきた。そして、2009 年アバターが大ヒットのコンテンツとなり、その後 3D 映画は次々と制作されている。

しかし、テレビ界と言えばそう簡単に 3D が定着しそうでもない。なにより消費者からの需要が少ないというところである。まだ高価格である上に必ず 3D 機能があるテレビが

欲しいという消費者が少ないのだ。何より、まだ3Dテレビ向けのコンテンツが少ないのが一番の原因だと考えられる。しかし、その分この分野は成長をする可能性が大きいとも言える。これから3Dテレビが生活の中に定着していくのか注目して見ていきたいところである。

4. 地上デジタル放送の今後の課題

4-1 ビル陰の受信障害

アナログテレビに比べて地上デジタル放送が受信障害強く、受信障害地域が少なくなるとは言え、以前と変わらず都市部の高層ビルが多いところでは一部受信障害が出ている。その対策案として総務省は「ビル陰共同受信施設の地上デジタル放送対応のための助成金制度」を設け、受信障害対策共聴施設のデジタル化改修、新設又は有線テレビジョン放送施設へ置換する場合、地上デジタル放送の視聴に不可欠な施設の設置、改修又は置換に要する総経費に対して1/2の額（共聴施設新設の場合は2/3の額）を支援することとした。

4-2 アナログテレビの不法投棄

2010年から2011年完全移行までがまさに地上デジタル放送対応のテレビへの買い替え時期である。そのため、この時期の間、アナログテレビへの不法投棄が増えることと懸念されている。こうした家電は家電リサイクル法により、処分の際に費用がかかるため、リサイクルができるにも関わらず、この時期一気に不法投棄が増えることと予測されている。ブラウン管のテレビの場合、リサイクルの際、約2,000円～3,000円の費用がかかるが、最近は家電量販店などで新しいテレビを購入した時に古いテレビを無料で引き取ってくれる場合もあるし、安い金額で引き取るサービスも行っている。

4-3 地上デジタル放送の地震速報

従来のアナログテレビ放送よりはるかに多い情報量を含んでいる地上デジタル放送はその情報を圧縮して送信しているが、これがアナログテレビ放送より受信が約2秒遅れる(タイムラグ)。地デジの受信速度を調査し、発表したのは横浜国立大工学部の高橋富士信教授のグループによると、アナログ放送に比べ、首都圏では平均1.95秒遅れて受信。ワンセグメント放送では平均3.85秒遅れるという。ここで問題となってくるのが「緊急地震速報」である。地震速報は2秒遅れるだけで大きな災難につながる恐れがある。

これを受け、NHKは遅れを改善するため、従来の地図付きスーパーに先立って「緊急地震速報」という文字スーパーをチャイム音とともに送出することに決定した。これで、東京タワーの電波内の地域では以前の(地上デジタル放送基準)文字スーパーより約1秒、それ以外の各放送局では約1.8秒～2.5秒早くなるという。

総務省でも「緊急地震速報」の速やかな伝送に向けた技術的検討を行い、その結果を昨年9月に発表している。検討された手法は、「文字スーパー(非同期字幕)」、「データ放送のイベントメッセージ」、「AC(Auxiliary Channel)による伝送」の3つである。

5. まとめ

今回調査をしながら一番感じたのは全体的に日本の地上デジタル放送への移行はかなりスムーズに進んでいるということだった。そしてその背景には政府の強いサポートがあった。人々にとにかく知ってもらおうと多くの情報が提供されていた。しかし、これがあまりにも政府（総務省）からだけの情報が多く、ある意味国が地上デジタル放送への情報を独占しているような印象も受けた。その中で地上デジタル放送への是非が充分に行われず、移行のメリットだけが強調され、国民が大きい買い物を強いられたということは否定できないところだと思う。また、地デジと関連し、総務省と補助事業の関係を持つ多くの独立団体の存在も目立った。あと5カ月後、地上デジタル放送への完全移行が終了した後に事業を担当していたこれらの団体はどうなるかを注目して見ていきたい。

6. 参考文献

- ・地上デジタル放送の現状と課題－国土交通課
- ・総務省－<http://www.soumu.go.jp/>
- ・NHK－<http://www.nhk.or.jp/>
- ・DTV Korea－<http://www.dtvkorea.org/>
- ・地上デジタル放送への完全移行に向けて－関東広域地上デジタル放送推進協議会
- ・地上デジタルテレビ放送に関する浸透度調査の結果－総務省
- ・地上デジタルテレビ放送のご案内
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/index.html
- ・フランスにおける地上デジタル放送への移行方策－NICT パリ事務局

デジタル・メディアが与える影響

A0919785

原口 由利恵

I はじめに

マーシャル・マクルーハンは、著書の『メディア論—人間の拡張の諸相』のなかで「いかなる技術も徐々に完全に新しい人間環境をもたらす」と述べた。「メディア論」の出版から数十年を経た現在は電子技術の発達により、デジタル・メディアが日々目覚ましい進化を遂げる時代となった。では、そのデジタル・メディアが私たちに与える影響とは一体何であろうか。これを考察することは、急激な技術革新の流れの中にいる私たちにとって重要なことだと考える。なぜなら、私たちの生活はデジタル・メディアなくしてはもはや成り立たず、それらを活用していく必要があるからだ。そして、活用する上でデジタル・メディアの真の姿を捉えることは、必須のステップである。

今回、デジタル・メディアの影響を探ることで、その真の姿に近づく作業ができればと考え、研究の主題とした。

II デジタル・メディアとアナログ・メディア

まず、アナログとデジタルの定義について確認しなければならない。アナログとは、数を角度やグラフなど、何らかの表現で類似させることであり、デジタルとは、数を2進法の数値で表現する方法である。また、デジタルということばの語源は「指」を意味する「digitus (ディジタス)」に由来しており、数を指で1,2,3と数える感覚から現在のデジタルの意味になったものと思われる。

デジタルの世界では、すべてのものは0と1の組み合わせ、つまり2進法によって表される(注1)。0と1の組み合わせでコード化(エンコード)された情報は、様々な出力装置によってデコードされ、私たちに知覚される。このことは逆にデジタル情報の出力装置がないと、私たちはその意味を解することができないことも示している。また、デジタルということばの語源は「指」を意味する「ディジタス」に由来している。デジタル・メディアの代表としては電子メール、デジタルテレビ、インターネットなどがある。これに対しアナログ・メディアの代表は手紙、アナログテレビ、新聞、本などである。

III デジタル・メディアの特徴

情報が0と1で表され、やり取りされるようになったことによる特徴は、主に「ノイズの消滅」、「情報の送受信スピードの短縮」、「情報量の増大」、「情報のネットワーク化」、「情報の保存性の向上」である。このうち「ノイズの消滅」という点では、アナログからデジタルに移行したテレビの例が、最もその違いをわかりやすく感じられるだろう。だが、

例えば書籍という媒体に目を移すと、ノイズの消滅はそれほど大きなデジタル化の特徴とはいえない。書籍のデジタル化の特徴は、書店や取次ぎなど作者から読者の手元に届くまでの中間に存在したキャストの消滅であるとも言えるし、在庫の消滅であるとも言える。また、広告の場合デジタル化の最大の特徴は、顧客の情報をトラッキング（追跡）することが可能になった、という点であろう。それにより広告主は、ターゲットにより的確にマッチした情報を届けることができ、受け手側も必要用とする商品に辿りつきやすくなった。

このように、デジタル化による特徴は媒体によって異なっているといえる。

IV 環境のブラック・ボックス化

「デジタル環境論」の著者松原伸一は、デジタル社会のもたらす特徴を「情報環境のブラック・ボックス化」という言葉で表している。これは、「情報化・複雑化により、内容や本質の理解が困難な環境へ変化する状況」を意味する。その上で松原は、以下のように述べた「現実世界はますます仮想化し、仮想世界はますます現実に迫る。私たちの周辺情報が、もはや『どの程度正しくて、どの程度妥当なものか』を判断することは、きわめて困難な状況になってしまった」。さらに、松原はデジタル環境のもたらす影響を「私たちの意識や認識・判断への影響に関する問題」だと捉えている。以下に彼の述べる、デジタル・メディアが人間生活に与える影響をまとめる。

①情報セキュリティに対する影響

インターネットによるネットワークの構築による利便性とのトレード・オフとしてのコンピュータ・ウィルス、サイバー・テロの問題とその対策にかかる技術開発・コスト面での問題の浮上。

②個人情報・プライバシーに対する影響

ネット上での様々な個人情報のやり取りによる、プライバシーの問題とそれに付随する安全管理のための各種の管理システムの構築による監視社会の到来。

③教育活動に対する影響

e-Learning/WBL といった教育環境の変化と、デジタル環境そのものについての教育の必要性による教育内容の増大。

④デジタル環境依存による生活スタイルや考え方・価値観の変化

携帯電話やインターネットからの頻繁なインタラプト（中断）により、継続的な思考が困難となる。さらに時間を十分に確保できないことにより、意見や解答を他人に依存する等の現象の発生。また、孤独感の解消と連帯感の発生。

⑤民主主義の考え方に対する影響

個人がマスに向けて意見を発信することが容易になったことによる、従来の意思決定の方式に変化が生じる可能性の浮上。

⑥職業・家庭生活環境への影響

職業人/家庭人のボーダレス化によるストレスの影響。

⑦人間の生涯設計への影響

静的設計から動的設計への移行、人生目標の多焦点化。

⑧人間の判断への影響

仮想と現実の相互接近による影響、情報の量と質が判断に及ぼす影響。私たちの判断がどのような影響下にあるのかを常に考える必要性。

⑨人間の活力への影響

自らが活動して情報を生成するという活力への影響、リアル体験とバーチャル経験をどのように調和させていくか、という問題。

また彼は、デジタル環境の潜在的影響として「事実の不確定化」を挙げている。これは、インターネットの普及、ブロードバンドの進展により、個人レベルでも、インターネットを利用して不特定多数へ向けて情報を発信することが可能となり、多数の事実が生まれることに起因する。特にインターネット上には、信頼性の高低によらず詳細かつ具体的な情報が溢れており、既存のメディアが生み出す以上の事実が生まれている。

上記の④デジタル環境依存による生活スタイルや考え方・価値観の変化、で述べた「デジタル・メディアからの頻繁なインタラプトによる思考の不継続」影響と相まって、私たちが活用するデジタル環境の信憑性は益々判断し辛くなっている。

デジタル・メディアにより「環境がブラック・ボックス化」している、と捉えることは、かなりネガティブな見方だろうが、デジタル・メディアに依存して生活する現代人が、そのネガティブな側面を意識してデジタル環境を活用していく必要は十分にあるといえる。具体的には、私たちは自分の判断が、何によって形成され、何の影響を受けたのか、常に内省していかなければならない。

V デジタル・ネットワーク社会

メディアのデジタル化の中心を担い、かつてないシステムを私たちに与えたのは「インターネット」である。ここからは、デジタル・メディアのなかでも特に「インターネット」に焦点をあてた考察を行う。

インターネットは、従来のアナログ・メディアとは違い「常に情報を発信し、かつアクセスできる」という性質を持っている。一旦ネット上に情報がアップされれば、その情報の発信者である相手が不在の場合でも情報にアクセスできる。時間的に比較的自由にアクセスできる、という点までは、本や新聞、雑誌といったメディアの特徴とさほど変わらないが、インターネットの特徴はアクセスした情報を、もう一度不特定多数に発信できることにある。

つまり、インターネットというメディアは、従来のアナログ・メディアに比べて飛躍的

に「情報が動的化」するのだ。インターネットというメディアは、ネット上のデータベースに情報を蓄積していくだけではなく、それを元に、ネットワークを構成する各個人間のダイナミックなコミュニケーションを行うことを可能にした。

第二の特徴が、「情報の公私のボーダレス化」である。従来のメディアでは、パーソナルとマスのメディアは区別されてきた。しかし、インターネットは、その境を曖昧にしている。誰もがいかなる情報にアクセスできる、という点においてはマスのメディアであるのに、情報が増大しネットワークが複雑に発達した近年のインターネットは、ある情報に辿り着く人間は結局その情報に興味・関心のある一部の人間たちであるため、情報にコミュニティが生まれ、インターネットはパーソナルなメディアの顔も併せ持つようになった。また、インターネットのはらむ問題としてプライバシーの項目がありながら、ブログという極めて私的なシステムが発達したことは、ひとつの矛盾である。

こういった事柄を補足・説明する特徴として、ネットの「匿名性」がある。ネットでは情報の発信者はどこまで素性を現すか、自由に決めることができる。このため、極めて私的な事柄も公開でき、その情報に辿り着く人間もそれらに関心を持った人間に絞られていく、という特性によって精神的コミュニティを築くことができ、私的情報の公開も進んだと考えられる。

VI インターネットの問題点

以上、インターネットの特徴を「情報の動的化」、「情報の公私のボーダレス化」、「匿名性」の三点としたが、これらの特徴からインターネットの問題点を探りたい。

問題点として、ここで取り扱うものを二点挙げる。第一が、インターネットをマス・メディアとして捉えた際のジャーナリズム性と情報発信の責任所在について。第二の問題がインターネットは世論形成の媒体となりうるか、という点である。

a) インターネットのジャーナリズム性と情報発信の責任所在

第一の問題を考察する上での事例として、ウィキリークスと、公安テロ情報流出問題を挙げる。既存のメディアは、監視対象とすべき権力と取材の過程で癒着し、それらを公然と批判できない現状からマスゴミとまで揶揄されるようになった。一方、ウィキリークス等のオンラインジャーナリズム（ここで言うオンラインジャーナリズムとは、Asahi.comなど既存のメディアから派生したものは除外し、完全にインターネット上から生まれた独自のジャーナリズムをさす）は、情報源を内部のものに頼っていることがほとんどであるため、取材行為そのものを省くことができ、抱き込みや癒着の恐れはなくなる。この点でインターネットは、そのジャーナリズム性を確保できれば優れたメディアとなりうるのだ。

しかし、例えばウィキリークスの場合、リークされた情報の真偽の判定は既存の大手メディアに委ねており、現状は相互補完の関係にあるといえるし、彼らの存在は完全に透明ではないものの、ある程度組織化されていることが伺える。では、完全な個人ジャーナリズムは可能だろうか。

個人から発信されるオンラインジャーナリズムを確立するためには、まず社会的責任を伴った情報発信が行われなければならない。警視庁の国際テロ捜査関連資料流出事件では、

流出した情報がインターネット上に出回った後に、第三書館からそれらをまとめた書籍が出版された。この一連の出来事で興味深いのは、コンテンツは同一であるのに、情報が書籍化された途端に出版の是非が取りざたされ差し止め処分を受けた、という点である。捜査情報は何者かによって意図的にネット上に流出したものと見られているが、出版の是非や、公安警察の情報管理体制の甘さなどが注目されることはあっても、情報をアップロードした者の責任はあまり論じられないままに終わった。

このことから、インターネットというメディアは情報を発信するにしても、その責任が厳密に問われていないことが伺える。インターネットの匿名性故に、その責任も埋没してしまうのだ。これに関連して、情報発信の責任所在については国が規定する必要があると考える。サイバー犯罪に関しては、警察庁が対策を進めているが、今のところインターネット上で情報を発信することに対する責任は、個人のモラルによっている。もちろん、国が情報そのものについて規制するようなことはあってはならないが、インターネットによってプライバシーを侵害されたものに対する、救済システムを構築する上では何らかの効力を持ったルールづくりが必要だろう。また、個人レベルでもインターネットというメディアの持つ公共性に対する意識を高めていく必要がある。

以上から、インターネットで情報を発信することに対する責任感と、インターネットの公共性についての意識が高まれば、そのジャーナリズム性は確保できるのではないだろうか。コンテンツの質という点では、従来の組織化され高価なシステムを駆使しているメディアには劣るだろうが、草の根ジャーナリズムの発信媒体としての価値は十分あるものと言えるだろう。また、既存のメディアによるジャーナリズムの質そのものを問い直す機会としてもその存在は重要である。

b) インターネットと世論形成

次に世論形成装置としてのインターネットの側面を探る上での事例として、長年ムバラク氏による独裁政治が続いてきた、このたびのエジプトでの民主化運動を例に挙げたい。この運動の特徴としてメディアでも多く取り扱われたのが、民衆がフェイスブックを利用してデモ参加を呼びかけていた点である。フェイスブックとはアメリカのソーシャル・ネットワークワーキング・サービス (SNS) のひとつで、エジプトでのフェイスブックの利用者は、この度の反政府デモの最中に急増したという。このように、フェイスブックなどの SNS はアラブ諸国にとって民主化への重要なツールとなり、多くはデモの呼びかけに利用されている。

歴史を振り返ってみても政権体制が変化をみせる際にメディアが果たした役割は、小さくない。しかし、これまでは人々の思想に間接的な影響をもたらしていた面が大きく、今回のように直接的な民衆の道具として利用される機会は少なかった。今回の事例ではフェイスブックがムバラク政権に対する民衆の意見を変えたわけではないが、政府に対する不満をデモというかたちで表現する上でのツールとなり、大統領辞任への拍車をかけたことは明らかだ。

では、人々が常につながっているという特徴をもったメディアの登場は、世論形成にどのような影響をもたらすのだろうか。

通常のマス・メディアでは、その問題に対する専門家の意見やオピニオンリーダーの意

見を中心として世論が形成されていく。しかし、ネット上での人々のコミュニケーションは、自由闊達であるが故に感情論的意見が多く、議論の中心を担うオピニオンリーダーも存在しないことがほとんどだ。中にはもちろん見識を備えた者の意見も存在はするが、それらはネット上の様々な場所に散らばっていて、新聞や雑誌のように問題ごとにカテゴリ分けされたり編集されたりしていない。そのため、ネット上にあまた存在する意見の中から良質なものを選び取り、議論を深めることは難しいと言える。

また、インターネット上での議論の傾向として、A という意見が持ち上がりそれに賛同するものが多くいた場合に「これは自作自演である」という意見が登場し、流れを握っていたかに見える論調も簡単に収束をみせてしまう、ということがある。これはインターネットの匿名性故に生じる現象であり、実際に顔を合わせて何かを議論する際には自作自演という理由で意見が消えるようなことは、まずない。つまり、インターネット上での議論というのは、何かひとつの意見に収束して結論がもたらされるというよりは、つねに対立意見が生まれ様々な意見が乱立する傾向があるのだ。

また、多メディア時代の現在、ネット上での議論の発端となるのは既存のメディアからの発信された情報である場合がほとんどである。以上のことを総合すると、世論形成の中核を担うメディアは、まだまだ既存のメディアによっていると思われる。

インターネットが世論形成装置としての役割を果たすとすれば、質の高い意見が検索で上位にあがってくる必要性や情報の再編集の必要があるだろう。いずれにしても、インターネットが先にも述べたエジプトでの例のように、政局を揺るがすメディア、もしくはツールとなっていくことは疑う余地がない。

VII デジタル・ディバイド

ここまではデジタル・メディアが存在することの影響を考えてきたが、その逆はどうだろうか。デジタル・ディバイドの言葉でもよく知られているように IT メディアにアクセスできないことによる情報格差問題は、2000 年の九州沖縄サミットを契機として人々に浸透した、重要な問題のひとつである。

デジタル・ディバイドとは、インターネットに代表される電子技術を持てる者と持たざる者との間に生じる情報格差と、それがもたらす社会的・経済的格差を表している。特定の領域内でのデジタル・ディバイドや、南北間でのグローバルなデジタル・ディバイド、ユニバーサルデザインにおけるデジタル・ディバイド等、その影響が及ぼす範囲は多岐にわたっている。

最近の日本におけるデジタル・ディバイドの身近な例では、就職活動でのスマートフォンがある。2012 年 4 月入社を目指す大学生（大学院生を含む）を対象にした、メンター・ダイヤモンド（ダイヤモンド社）の調査によると、「スマートフォンは就活に有利だ」と答えた人は 68.0%にも上った。その理由は、「エントリー・説明会予約がしやすい」（45.9%）、「PC 用 Web サイトが閲覧できる」（25.5%）、「PC 用メールアドレスが管理できる」（10.5%）、「情報収集に便利」（8.4%）、「便利なアプリがある」（4.0%）などであった。

しかし、デジタル・ディバイドがなくなれば大学生の内定率が上がるか、といえどこれはまた別の問題であり、デジタル・メディアを持っていても、自分が必要とする情報

にたどり着けなければ意味がない。また、重要なことはどれだけ知っているかではないということを知覚し、自分が得た情報の質を考える必要があるだろう。

このようにデジタル・ディバイドを考える上では、メディアがあるか、ないか、ではなく、それを使いこなせる知識や技術があるかということの方に問題の本質があるのではないだろうか。

VIII おわりに

デジタル・ディバイドという言葉の出現からもわかるように、デジタル・メディアの登場による最大の影響は「情報そのものの価値の上昇」ではないだろうか。メディアの歴史からみれば、長く知識は社会の一部のものたちだけの占有物だった。それが、グーテンベルクの活版印刷技術によって、一般市民のものへと広がりを見せた。デジタル・メディアが第二のグーテンベルク・ショックともいえるべき影響をもたらしつつあるが、これまでにないネガティブな側面も語られることが多い。ただ、そういった部分を強調しすぎることなく、デジタル・メディアと向かい合っていく必要があることは確かだ。

【脚注と参考】

MacLuhan, Marshall (1987年)『メディア論—人間の拡張の諸相』みすず書房

注1 三野裕之(2003年)『デジタルメディア概論』ムイスリ出版 p31

吉田夏彦(1990年)『デジタル思考とアナログ思考』日本放送出版会

松原伸一(2004年)『デジタル環境論 デジタル環境が及ぼす人間生活への影響』ナカニシヤ出版

千田利史(2004年)『デジタルで変わる事変わらない事』中央経済社

志賀厚雄(2000年)『デジタル・メディア・ルネッサンス』丸善ライブラリー

矢島敬士(2007年)『メディア・コミュニケーション論』コロナ社

富田英典・南田勝也・辻 泉編(2007年)『デジタルメディア・トレーニング』有斐閣選書

桜井哲夫・大榎淳・北山聡(2005年)『デジタルネットワーク社会』平凡社

水越 伸(2002年)『デジタル・メディア社会』岩波書店

舟木 亨(2005年)『デジタルメディア時代の《方法序説》』ナカニシヤ出版

橋元良明・吉井博明編(2005年)『ネットワーク社会』ミネルヴァ書房

遠藤 薫(2004年)『インターネットと世論形成』東京電機大学出版

ウォールストリートジャーナル日本版 http://jp.wsj.com/IT/node_179113

Business Media 誠 <http://bizmakoto.jp/makoto/articles/1101/13/news039.html>